

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

平成 24 年度事業報告

[公 1]

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

1 各種情報の収集、発信及び啓発

決算額 4,591,357 円 (予算額 7,060,000 円)

(1) 広報活動事業

決算額 1,980,515 円 (予算額 2,100,000 円)

ア ラジオの活用による情報発信活動

決算額 244,600 円 (予算額 300,000 円)

センターの活動や取組に関する情報を、より広く伝えることを目的として、NPO京都コミュニティ放送が実施する京都三条ラジオカフェ (79.7MHz) の番組「まちづくりチョビット推進室」において情報を発信した。

*番組名：『まちづくりチョビット推進室』

年間 6 回の収録、1 回収録分につき月 2 回放送

毎月第二、第四土曜日 15:30~16:00

京都でまちづくり活動を行う人や、その活動内容を紹介

平成 24 年 6 月 「あなたの町の愛し方～我が町の自信と誇り in 東山～」

8 月 「西陣の朝市～マルシェ～」ってご存じですか？

9 月 「京都のリアルな暮らしを世界に発信する 外国人向け町歩き
集団 The Deepest KYOTO ツアー」

10 月 「RACプロジェクト (Rakuhoku Area Cooperation)」

12 月 「鴨川“真”発見記」ってご存じですか？

2 月 「すごいんです、西竹の里タウンハウス～住み継がれる美しい町～」

イ ニュースレター「京まち工房」の発行

決算額 1,735,915 円（予算額 1,800,000 円）

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況等を掲載した広報誌を作成し配布した。

配布先：賛助会員、全国のまちづくり関連機関等

発行：年4回（6月、9月、12月、3月）

発行部数：各号 3,500 部

(2) シンポジウム等の主催事業

決算額 2,610,842 円（予算額 4,960,000 円）

ア 景観・まちづくりシンポジウムの開催

決算額 498,908 円（予算額 500,000 円）

景観・まちづくりの先進事例を紹介し、景観づくりの意義やノウハウを共有する学びの機会、他地域との関係づくりや情報の交流を通して、景観・まちづくりの持続的な活動について一緒に考えることを目的に開催した。

- ・タイトル：「私たちが担う 景観・まちづくりのこれから」
- ・日時：平成 25 年 2 月 24 日 14 時～16 時半
- ・場所：ひと・まち交流館 京都 大会議室＋ワークショップルーム
- ・出席者：155 人（分科会 A34 人、分科会 B85 人、分科会 C36 人）
※申込者 172 人

【基調講演】

「コミュニティを育む景観・まちづくりのススメ」 門内輝行教授（京都大学大学院）

【第 2 部 分科会】

- 分科会 A：「地域文化を守り伝える景観の創造」（参加者：34 人）
 - ・事例紹介：修徳学区、先斗町
- 分科会 B：「空き家から考える地域の未来と景観・まちづくり」（参加者：85 人）
 - ・事例紹介：六原学区、きたまち（奈良市）、尾道市
- 分科会 C：「地域の運営を拓くコミュニティと景観のこれから」（参加者：36 人）
 - ・事例紹介：西竹の里タウンハウス、土居廓中（高知県安芸市）

イ セミナーの実施

決算額 2,111,934 円（予算額 4,460,000 円）

(ア) 景観・まちづくり大学

a 京のまちづくり史セミナー（対象者：一般市民）

京都のまちづくりの歴史を学びこれからのまちづくりを考えるため実施した。

| 開催日 | 講座名 | 講師 | 定員 | 出席者 |
|-------------|-------------------------------------|---|----|-----|
| H24. 7. 23 | 京のなりわいと空間形成 | 高橋 康夫氏（花園大学教授、京都大学名誉教授） | 50 | 41 |
| H24. 8. 20 | 京都の近代化と都市計画事業 | 中川 理氏（京都工芸繊維大学教授） | 50 | 37 |
| H24. 9. 3 | 伝統地場産業と同業者町の形成 | 滋野 浩毅氏（成美大学准教授） | 50 | 27 |
| H24. 10. 6 | 西本願寺門前のまちづくり | 井口富夫氏（龍谷大学准教授） 宇佐美直秀氏（植柳まちづくりプロジェクトチーム） | 20 | 19 |
| H24. 10. 21 | 職業の近代化による西陣の町並みの形成 | 水島 あかね氏（明石工業高等専門学校助教） | 20 | 16 |
| H24. 11. 27 | 文化的景観とまちづくり | 高橋 康夫氏（花園大学教授、京都大学名誉教授） | 50 | 24 |
| H25. 1. 9 | 近代産業化遺産とまちづくり | 石田 潤一郎氏（京都工芸繊維大学教授） | 50 | 38 |
| H25. 1. 19 | 家具のまち 夷川のいま・むかし | 協力 夷川会 | 20 | 28 |
| H25. 3. 2 | まちなかにおける伝統産業の集積～仏具関連産業が集まる有隣学区をあるく～ | 吉田治弘氏（京都伝産仏具工芸協同組合理事長、 （株）吉田治市商店代表取締役会長） | 20 | 10 |
| H25. 3. 5 | 新天地を求めた清水焼団地～京焼の発展とともに～ | 谷口正典氏（陶芸家、日本新工芸家連盟評議員、大阪成蹊大学芸術学部非常勤講師） | 20 | 10 |
| H25. 3. 16 | 酒造から見る伏見の町の移ろい | 北川幸宏氏（㈱北川本家） 谷口知弘氏（コミュニティデザイン研究室代表） | 20 | 17 |

b まちづくり実践塾（まちづくり情報発信セミナー）

（対象者：まちづくりに関心の高い市民、専門家）

まちづくりに関する種々の情報を発信し、広くまちづくりへの参画意識の向上のため実施した。

| 開催日 | 講座名 | 講師 | 定員 | 出席者 |
|-------------|--------------------------------|--|----|-----|
| H24. 9. 26 | 美しい都心の賑わいを目指して | リム ボン氏（立命館大学） | 30 | 22 |
| H24. 10. 29 | 文化の薫るまちなかゾーンの創出へ！ | 加藤 隆生氏（㈱SCRAP） 藤田 功博氏（㈱のぞみ） | 30 | 43 |
| H24. 12. 5 | 京まちの魅力＝伝統×創造力×??? | 村山 裕三氏（同志社大学） 八木 隆裕氏（㈱開化堂） 細尾 真生氏（㈱細尾） | 30 | 27 |
| H25. 1. 28 | 集客スポットからの提案！ 京都の賑わいの新展開 | 佐々木 伸也氏（元新風館副館長） 升本 忠宏氏（京都水族館支配人） 太田 範行氏（㈱藤井大丸取締役） | 30 | 28 |
| H25. 2. 27 | まちなかの暮らしを愉しむ ～歴史的都心部再生の方向性～ | 宗田 好史氏（京都府立大学教授） | 30 | 37 |

c 京町家再生セミナー（対象者：京町家の所有者、居住者）

主に京町家の所有者、居住者を対象に京町家の維持、管理等に関する課題解決のため実施した。

| 開催日 | 講座名 | 講師 | 定員 | 出席者 |
|-------------|---------------------------------------|--|----|-----|
| H24. 8. 5 | 大工さんに聞く、町家のキホン | 京都府建築工業協同組合 | 30 | 22 |
| H24. 8. 26 | 京町家再生の20年 | 宗田 好史氏（京都府立大学教授） | 50 | 35 |
| H24. 9. 9 | 四季を彩る京町家暮らしの工夫 | 小泉 光太郎氏（NPO法人四条京町家理事長） | 20 | 21 |
| H24. 9. 30 | 銘木屋さんから見る町家の部材、意匠の見方 | 中川 典子氏（㈱千本銘木商会常務取締役） | 50 | 24 |
| H24. 10. 24 | 快適な町家暮らしのための改修ポイント | 京都府建築士会 | 50 | 14 |
| H24. 11. 13 | 町家を次世代に残すための相続対策 | 石田 光曠氏（京町家承継促進研究会） 磯林 恵介氏（京町家承継促進研究会） | 50 | 25 |
| H25. 2. 8 | 京町家の貸し借りの質問にお答えします。京町家の有効活用事例もご紹介します。 | 原田直紀氏、西村孝平氏（公益社団法人京都府宅地建物取引業協会） | 50 | 27 |

d 京町家住まい方ラボ（対象者：京町家の所有者、居住者）

京町家について、見て、聞いて、体験することで、理解を深めるため実施した。

| 開催日 | 講座名 | 講師 | 定員 | 出席者 |
|-------------|-----------------------|---|----|-----|
| H24. 7. 29 | 写真で切り取る町家のある風景の魅力 | 小針 剛氏（写真家、町家倶楽部） | 10 | 7 |
| H24. 11. 10 | プロに聞く、庭の手入れのコツ | NPO法人古材文化の会 | 20 | 31 |
| H24. 12. 1 | 京都の土壁文化を住まい・まちづくりに活かす | 田村 佳英氏（KARTH 耐震・防火研究チーム） 武田 眞理子氏（KARTH 耐震・防火研究チーム） | 20 | 11 |

e まちづくり専門家セミナー（対象者：行政、学識者、建築、土木等のまちづくり専門家）

まちづくりに関わる様々な専門家との共同による調査・研究及びスキルアップのため実施した。

| 開催日 | 講座名 | 定員 | 出席者 |
|------------|-------------------------------|----|-----|
| H24. 5. 31 | アートとまちづくり 講師：ラルフ・ディバート氏、宗田好史氏 | 50 | 44 |

f 地域まちづくりセミナー（対象者：主に地域まちづくりの担い手）

住民主体のまちづくり活動の誘導、促進を図るため実施した。

| 開催日 | 講座名 | 出席者 |
|------------|------------------------|-----|
| H24. 10. 2 | 地域まちづくりの”今”と”これから”を考える | 15 |

g 学生まちづくりセミナー（対象者：学生）

京都市立芸術大学に、地域資源をテーマに製作を行ってもらい、その作品の展示会を行った。製作や展示のプロセスにおいて、地域住民との交流など、学生がまちづくりに関わる機会を創出した。

| 開催日 | 企画名 | 出席者 |
|------------------|---|-----|
| H24. 4. 16 | 「私が見つけた嵯峨・嵐山」パネル展 オープニングイベント (学生と地域住民の交流会) | 42 |
| H24. 4. 17～4. 23 | 「私が見つけた嵯峨・嵐山」パネル展 於：カフェレストラン赤マンマ アートギャラリー | — |
| H24. 12. 11 | 「御池通り周辺地域の歴史について」講演会及びまち歩き | 38 |
| H25. 3. 4 | パネル展示会「御池通界わいの今と昔 千本通～河原町通」内覧会 (学生と地域住民の交流会) | 46 |
| H25. 3. 5～3. 10 | パネル展示会「御池通界わいの今と昔 千本通～河原町通」 於：堀川御池ギャラリー展示室A | — |

h 展示案内ボランティア交流会

京のまちかど展示コーナーの案内を担当している 12 名のボランティアの交流とスキルアップを目的として実施した。

| 開催日 | 講座名 |
|------------|------------------------------|
| H24. 7. 18 | 平成 23 年度の取組みの振り返りと今年度の企画について |
| H24. 9. 13 | 市民意見に基づく、京のまちかど展示コーナーの再学習 |
| H24. 11. 7 | 百人一首の史跡をまちあるき |

(イ) 京町家の所有者・居住者の集い

京町家の所有者・居住者の集い（対象者：京町家の所有者、居住者）

京町家の所有者、居住者等が相互に情報交換し、連携することによって、その維持、管理等に対する共通課題の解決等を見出すことなどを目的として実施した。

| 開催日 | 講座名 | 講 師 | 出席者 |
|-------------|--|---------------------|-----|
| H24. 6. 5 | 今年度企画の意見出し | 昨年度参加者 | 5 |
| H24. 7. 21 | 町屋での適材適所、木材の使い方を学ぶ | 中川典子氏（千本銘木商会） | 13 |
| H24. 10. 20 | 屋根の小さな守り神「鍾馗さん」 (講師都合により中止) | 小沢正樹氏（「鍾馗さんを探せ」の著者） | 中止 |
| H24. 12. 16 | 屋根の小さな守り神「鍾馗さん」 | 小沢正樹氏（「鍾馗さんを探せ」の著者） | 19 |
| H25. 3. 3 | 町家の天敵、シロアリ・害虫・害獣 ～安心安全の住まいに向けて気をつけたいこと～ | 中岡 洋平氏（㈱ヤマト産業 部長） | 18 |

2 市民等の活動に対する総合的支援

決算額 3,490,348 円（予算額 5,510,000 円）

(1) 地域活動支援事業

決算額 821,236 円（予算額 1,450,000 円）

ア 地域ホームページの作成支援

決算額 323,066 円（予算額 500,000 円）

インターネットを活用した広報活動を目指す地域に対してホームページの立ち上げと管理（サーバーの提供）を支援した。

支援地域 6 地区

（有隣学区、修徳学区、桂坂学区、六原学区、松ヶ崎学区、京都市建築協定連絡協議会）

地域情報の検索ページ作成

（まちセンホームページのコンテンツとして、ニュースレター「京まち工房」の記事を中心とした地域の情報が検索できるページを作成）

イ まちづくり活動への助成

決算額 409,315 円（予算額 850,000 円）

地区計画や建築協定などの法制度等を活用し、景観・まちづくりに継続的に取り組む地域に対して、活動費を助成した。

〔活動費の助成地域〕

大原自治連合会（左京区大原戸寺町）：地区計画の策定に向けて活動し、地元案を作成

柘野（北区）：柘野まちづくりビジョンの冊子（本編及び概要版）の印刷費用を助成。

ウ マンション住民との交流の促進

決算額 88,855 円（予算額 100,000 円）

地域におけるマンション建設時の問題や住民相互の交流などの問題に相談対応するため、「おつきあいのコトはじめ」発行以来の事例情報の収集や、地域コミュニティサポートセンター等の新設機関を含めた他機関との連携方策など、相談対応の充実を図った。

(2) 各種相談事業

決算額 1,470,458 円 (予算額 2,660,000 円)

ア 京町家なんでも相談等 (件数は平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月末までの合計)

決算額 1,187,213 円 (予算額 2,010,000 円)

京都の町並み景観を形成する京町家の保全、再生、活用を図るため、各種の専門家、団体等の協力の下、「京町家なんでも相談」を実施した。

(ア) 一般相談 453 件 (平成 23 年度実績 562 件)

- ・センター職員による一次対応

相談内容に応じて、専門相談を行った。

(イ) 専門相談 34 件 (平成 23 年度実績 30 件)

- ・協力団体から推薦いただいた専門相談員による個別対応を実施した。

| 相談項目 | 一般相談 | 専門相談 | 合計 |
|---------------------------|------|------|-----|
| 改修に関するもの | 130 | 27 | 157 |
| 活用に関するもの | 51 | 7 | 58 |
| 賃借・購入希望に関するもの | 39 | 0 | 39 |
| 耐震・防火に関するもの | 8 | 7 | 15 |
| 賃貸・売買契約に関するもの | 6 | 1 | 7 |
| 相隣問題 | 6 | 3 | 9 |
| 相続に関するもの | 18 | 5 | 23 |
| 資金、公的な支援制度 | 77 | 7 | 84 |
| その他 (マスコミ、視察、協力依頼、情報提供など) | 57 | 0 | 57 |
| 京町家まちづくりファンド | 160 | 4 | 164 |
| 京町家カルテ | 70 | 0 | 70 |
| 海外連携情報発信事業 | 5 | 0 | 5 |
| 合計 | 627 | 61 | 688 |

※数値は相談項目数のため、件数とは一致しない。

イ 景観・まちづくりに関する相談

決算額 283,245 円（予算額 650,000 円）

センター職員による地域が自主的に取り組む景観・まちづくり活動に関する相談を実施した。

[具体的な活動]

・相談件数 306 件（平成 23 年度実績 392 件）

| 相談項目 | |
|---|-----|
| 地域まちづくり活動、地域の現状等について | 215 |
| マンション問題 | 3 |
| センター事業概要（まちづくり活動支援事業等）について | 14 |
| 景観・まちづくりに関するルールについて（式目、地区計画、景観協定、建築協定等） | 84 |
| 法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法など） | 7 |
| まちづくりコーディネート事業 | 225 |
| その他 | 48 |
| 合計 | 596 |

※数値は相談項目数のため、件数とは一致しない。

・センター職員が相談等に応じている地区 22 地区

北区柵野学区、上京区西陣中央小学校区・桃菌学区・待賢学区・堀川団地、中京区姉小路
界限地区・先斗町（立誠学区）・明倫学区、左京区大原小出石町・大原戸寺町・松ヶ崎学区、
東山区六原学区、下京区修徳学区・有隣学区・菊浜学区・新釜座町（成徳学区）、賀茂葵コ
ミュニティ（上賀茂学区・柵野学区・松ヶ崎学区他）、右京区嵐山本町、西京区桂坂地区・西竹の
里タウンハウス、伏見区深草地域、歩いて暮らせるまちづくり推進会議（中京区本能学区・明倫学区・日彰学
区・生祥学区・立誠学区・城巽学区・龍池学区・初音学区・柳池学区）

(3) 専門家等派遣事業

決算額 1,198,654 円（予算額 1,400,000 円）

まちづくり専門家による支援等

景観・まちづくり活動に取り組む地域に対し、活動の支援を目的として登録専門家を派遣した。

[専門家派遣地区]

北区柵野学区、中京区龍池学区

3 各種の調査、研究

地域コミュニティの活性化等に関する調査等事業

世代交代、新旧住民の人口分布等を踏まえた、京都の伝統的コミュニティの継承の在り方等に関する調査、研究として、「2（1）ウ マンション住民との交流の促進」において、事例調査等を行った。（再掲）

4 各種団体等との交流及び協働活動

決算額 2,034,098 円（予算額 2,881,000 円）

(1) 専門家等交流事業

決算額 246,948 円（予算額 950,000 円）

ア まちづくり専門家交流会

各分野の専門家との共同による交流会を開催し、相互のスキルアップとまちづくりに関わる専門家の育成を目的に実施した。

| 開催日 | 講座名 | 出席者 |
|------------|---|-----|
| H24. 5. 19 | 「景観まちづくりのあり方と専門家の役割について考える」 景観エリアマネジメント講座受講生等による発表・情報交流会 | 35 |

イ 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する交流会の開催

(ア) 京町家の保全・再生のあり方検討会の運営

京町家等の暮らしの価値の情報発信の促進を目的としたネットワークづくりのための交流会等を開催した。

*年間 1回実施

*構成団体

京都府建築工業協同組合、京都府建築士会、京都府宅地建物取引業協会、関西木造住文化研究会、京町家再生研究会、古材文化の会、町家倶楽部ネットワーク 等

| 開催日 | 活動名 |
|-----------|-----------------|
| H24. 4. 3 | 京町家再生プランの充実について |

(イ) 各種団体との連携

一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本都市計画学会、一般社団法人都市住宅学会、一般社団法人日本マンション学会の会員として入会し、情報の交換や共有を行った。

ウ 関係機関、団体等との協働事業の展開

立命館大学との共催で、高瀬川周辺の防災及び地域活性化をテーマとする学生コンペ「第4回文化遺産防災アイデアコンペティション」(開催日:7月7日)を実施。全国からの応募156作品のうち、公開プレゼンテーションを含む審査により10作品を入賞作として選出した。

(2) 海外連携プロジェクト事業

決算額 1,787,150円(予算額 1,931,000円)

ア 京町家アーティスト・イン・レジデンスの実施

決算額 1,706,703円(予算額 1,850,000円)

京町家を滞在先としてオランダからのアーティストを受け入れ、京町家の活用の促進及び所有者や地域との交流を支援するアーティスト・イン・レジデンスを実施した。

10月16日から11月30日までの間、和紙を用いたアートや、伝統的技法に加えてデジタルを駆使した絵画を専門とする3名が、西陣界隈の京町家に滞在し研修及び創作活動を行った。

| 作家 | 滞在先 | 期間 | 活動内容 |
|---------------|-----|-------------|----------------------|
| アンネリンデ・デ・ヨング氏 | 米田邸 | 10/16-11/26 | 和紙を利用したアート |
| トーマス・シュマル氏 | 米田邸 | 10/16-11/30 | 伝統的技法とデジタルを駆使した絵画 |
| リース・ベルデニウス氏 | 振本邸 | 10/16-11/26 | 和紙を用いた銅版画や、アートブックの作成 |

(滞在中の主な取組)

- ・京町家オリエンテーション(平成24年10月17日、吉田家)
- ・トークセッション(平成24年11月22日、京都芸術センター)
 - ※アーティスト・イン・レジデンスとコミュニティとの関わりについて、事例紹介や来場者も含めた意見交換を行った。
- ・成果報告展(平成24年11月22日、11月23日、京都芸術センター)
 - ※作品展示(22~23日)、アーティスト・プレゼンテーション(23日)

イ 第13回世界歴史都市会議への参画

決算額 80,447円(予算額 81,000円)

4月15~18日にベトナムのフエで開催され、当センター理事である京都府立大学宗田教授が「歴史都市における産業遺産と伝統産業」について発表され、情報交換が行われた。

5 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発等

決算額 7,751,758 円（予算額 14,106,000 円）

(1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

決算額 2,167,985 円（予算額 3,954,000 円）

ア 京町家まちづくりファンドの運営

決算額 507,949 円（予算額 770,000 円）

京町家まちづくりファンド委員会の開催

第 25 回 4/2、第 26 回 5/9、第 27 回 8/3、第 28 回 3/5

平成 24 年度改修助成事業では、8 件の応募があり、6 件を選定した。

イ 京町家まちづくりファンドの普及・啓発

決算額 1,363,811 円（予算額 1,784,000 円）

(ア) 京町家まちづくりファンドの普及啓発

- ・西陣朝市マルシェ（9/8）
- ・京都西陣千両ヶ辻伝統文化祭（9/22）
- ・FM京都（1/18）
- ・京歩き in 東京 2013（2/11、2/12）
- ・ファンド助成物件記録集の作成

(イ) 京町家ツアー事業の実施

センター主催事業

- ・The deepest kyoto tour（英語通訳付きまちあるきツアー）

4 月 11 日：参加者 15 人、4 月 12 日：参加者 12 人、5 月 23 日：参加者 5 人

センター共催事業

- ・京の四季を愉しむ会（NPO 四条京町家との共催）

4 月 28 日：春「仕出屋にきく京の暮らしと食文化」 参加者 19 人

6 月 16 日：夏第 1 回「京の夏暮らしと夏野菜」 参加者 8 名

7 月 15 日：夏第 2 回「祇園祭の話と鰻料理」 参加者 26 名

- ・The deepest kyoto tour（英語通訳付きまちあるきツアー）共催分参加者 17 名

※平成 24 年 9 月から、センター共催事業に移行した。

センター後援事業

- ・京の四季を愉しむ会（NPO 四条京町家主催）

10 月 7 日：秋「建具替え体験と炭火を愉しむ交流会」

1 月 26 日：冬「京の新酒の話と節分料理」

※平成 24 年 10 月から、センター後援事業に移行した。

ウ WMF 等との連携による支援に係る普及、啓発（公 2：参照）

決算額 296,225 円（予算額 1,400,000 円）

WMF との連携の継続による、京町家の再生、活用に向けた国際的事業を実施した。

（参考）京町家再生プロジェクト 第Ⅰ期 釜座町町家

第Ⅱ期 風雷房

平成 24 年度は第Ⅱ期プロジェクトとして大型町家「風雷房」の修復を行うとともに、京町家の普及啓発のために、東京におけるシンポジウム等を行った。

なお、「風雷房」は、平成 24 年 5 月に景観重要建造物、歴史的風致形成建造物の指定を受け、町家美術館として一般に公開されている。

(2) 歴史的建造物の保全、再生に関する支援事業

決算額 5,567,332 円（予算額 9,202,000 円）

ア 京町家カルテの作成

決算額 1,333,140 円（予算額 2,100,000 円）

京町家の適正な維持・管理・継承を考えている所有者に対し、文化的価値及び建物状態について評価することで、京町家の価値を深め、京町家を将来にわたって継承してもらうことを目的に、京町家カルテを作成した。

・カルテの作成件数 55 件（平成 23 年度実績 58 件）

イ 京町家の往訪事業

決算額 4,234,192 円（予算額 7,102,000 円）

文化庁補助事業（文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）を活用し、平成 21 年度から 22 年度にかけて実施した京町家まちづくり調査において、特に京町家としての要素を多く有している京町家をリストアップし、平成 23 年度に情報提供を約 300 件行った。平成 24 年度は、専門家の適切なアドバイスなど、維持・管理・改修についての有益な情報を提供すると共に、京町家を保全・再生するサポーター（市民団体、専門家等）がいるということを認識していただき、継続的な支援を行っていくことを目的に、約 300 件の中で、所有者から関心がある、話をしたい等の意向があった 20 件の京町家に対して往訪相談を実施した。そのうち、9 件の建物調査報告書を作成し、1 件が歴史的風致形成建造物に指定され（平成 25 年 3 月）、3 件が景観重要建造物等の制度指定に向けて動いている。

6 景観整備機構に関わる関連業務

決算額 8,230 円（予算額 120,000 円）

各種調査、研究並びに提言等に関する事業

景観重要建造物指定候補の提案事務

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家に対し、往訪事業を実施した。この他にも、京町家なんでも相談及び京町家まちづくりフェードにおいて、制度指定を推進し、結果として 3 件が景観重要建造物に指定された。

7 その他京都市景観・まちづくりセンターの管理運営事業

決算額 14,670,650 円 (予算額 17,340,000 円)

京都市景観・まちづくりセンターの運営事業

ア 「ひと・まち交流館 京都」の1階及び地下1階の施設運営

[センター来場者数]

69,797 人 (23 年度実績 70,936 人)

参考:「ひと・まち交流館 京都」来場者数 245,072 人 (23 年度実績 260,316 人)

* 1階 京のまちかど展示コーナー

京都のまちづくりに関する情報提供を行う展示施設を運営した。

(登録ボランティア 12 名)

年間来場者数 32,187 人 (23 年度実績 33,466 人)

* 図書コーナー運営状況

| | | | |
|-------------------|----------|---------|-----------|
| 平成 25 年 3 月末所蔵資料集 | 17,060 点 | (23 年度末 | 16,600 点) |
| (内訳) 一般書籍 | 13,063 点 | (23 年度末 | 12,411 点) |
| 郷土資料 | 751 点 | (23 年度末 | 686 点) |
| 行政資料 | 1,421 点 | (23 年度末 | 1,306 点) |
| 視聴覚資料 | 538 点 | (23 年度末 | 375 点) |
| 雑誌 | 726 点 | (23 年度末 | 663 点) |
| 地図・絵本等 | 561 点 | (23 年度末 | 1,159 点) |

(利用状況)

| | | | |
|-------------|----------|----------|-----------|
| 利用者数 | 21,096 人 | (23 年度実績 | 20,881 人) |
| 利用者カード新規発行数 | 183 枚 | (23 年度実績 | 206 人) |
| 利用者カード述べ発行数 | 2,114 枚 | (23 年度実績 | 1,931 枚) |
| 図書等貸出数 | 2,500 点 | (23 年度実績 | 2,431 点) |

*まちづくり交流サロン

広く一般に開放され、打ち合わせ等ができるサロンを運営した。

*まちづくり工房

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置したスペースを運営した。

*ワークショップルーム

まちづくり等の打ち合わせを行うスペースとして、景観・まちづくり大学をはじめとするセンターの主催、共催事業等に活用した。

イ ホームページを活用したセンターの情報発信

ホームページ等の電子媒体を活用したセンターの活動及び情報等を発信した。

| | | | |
|-------------|-----------|----------|------------|
| *ホームページの運営 | 186,648 件 | (23 年度実績 | 180,436 件) |
| *メールマガジンの配信 | 18 回 | (23 年度実績 | 21 回) |
| メールマガジン購読者数 | 1,268 人 | (23 年度実績 | 1,217 人) |

8 その他

講師の派遣事業

関連団体等に講師派遣を行った。

講師派遣

| 日 時 | 講演先 | 講演内容 |
|-----------------------|---------------------------|--------------------------------|
| H24. 10. 6 ～11. 29 | 地域景観づくり講座 | センターや市民、行政、専門家の役割について話題提供 |
| H24. 11. 18 | 彦根景観フォーラム | 京町家データベースの取組みを講演 |
| H25. 1. 17 ～1. 18 | 沖縄らしい風景作りに係る人材育成計画検討委員会 | センターの景観・まちづくりに係る取組み |
| H25. 2. 2 | 龍谷大学社会科学研究所・町家と省エネルギー共同研究 | 京町家の現状と保全・再生の取組み |
| H25. 2. 4 | 京町家承継促進研究会 | 「京町家承継促進研究会」のサポーターとしての報告 |
| H25. 2. 7 | 市工業団地企業会 | センターの取組みとまちづくりについて |
| H25. 2. 13 | 立命館大学政策科学研究科 | 「地域供創プロデューサー育成プログラム」企画シンポジウム発表 |
| H25. 3. 2 | 福井大学大学院 | 「実践し省察するコミュニティ 2013」への参加 |

[公 2] 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

■京町家まちづくりファンド改修助成事業

京町家の変容や減少を憂慮された東京在住の篤志家からの5千万円の寄附を契機に平成17年9月に設立したファンドを活用し、京町家の外観改修に要する費用の1/2（上限500万円）を助成する事業を実施（平成24年度まで67件に対して改修助成を実施）

- ・平成24年度改修助成事業は8件の応募があり、6件を選定。交付済4件、未交付2件
- ・平成23年度以前に選定済物件 平成24年度交付済5件、未交付1件

1 事業活動実績

決算額 10,665,880円 （予算額 14,060,000円）

(1) 京町家改修助成事業

決算額 10,660,000円 （予算額 14,030,000円）

- ・平成24年度改修助成事業として6件を選定し、うち4件に対して助成金を交付した。
（未交付2件）
- ・平成23年度改修助成事業として13件を選定したうち、未交付となっていた5件について、4件に助成金を交付した。（辞退2件、未交付1件）
- ・平成22年度改修助成事業として15件を選定したうち、未交付となっていた1件について、助成金を交付した。

助成物件（表1）

| 選定年度 | 名称 | 所在地 | 活用計画 |
|------|-----------------------|-----|---------------------------------------|
| H22 | 土肥邸 | 上京区 | 住居 |
| H23 | 横田邸 | 左京区 | 住居 |
| | 寺島邸 | 上京区 | 住居 |
| | 吉村邸/ ウサギノネドコ | 中京区 | 宿泊施設兼店舗・ギャラリー |
| | 長谷川家住宅/ 歴史・文化・交流の家 | 南区 | 住居兼ギャラリー・手織り教室 （平成24年度国登録有形文化財答申中） |
| H24 | 山内邸 | 上京区 | 住居兼店舗 |
| | 長岡邸 | 上京区 | 住居 |
| | 北岡邸 | 中京区 | 住居（平成24年度景観重要建造物、歴史的風致形成建造物指定） |
| | 小西邸 | 伏見区 | 大学施設 （平成24年度景観重要建造物指定） |

- ・助成金交付 平均額 1,184,444円（最高額 1,810,000円、最低額 500,000円）

(2) 手数料

決算額 5,880 円 (予算額 30,000 円)

改修工事に係る助成金振込手数料

2 収入実績 (基金運用、寄付金、募金等の収入)

決算額 3,542,616 円 (予算額 6,440,000 円)

(内訳)

| | |
|----------------------|--------------------|
| ①基金運用収入 (利息、配当金収入) | 837,069 円 |
| ②基金寄付金収入 | 650,509 円 |
| ③基金募金収入 | 1,577,343 円 |
| ④冊子販売・町家キット販売手数料、講師料 | 477,695 円 (公1から振替) |
| 合 計 | 3,542,616 円 |

(参考) ②寄付金収入内訳

| 受入年度 | 法人・団体 | | | 個人 | | | 合計 金額 (円) |
|------|-------|----|---------|------|----|---------|--------------|
| | 延べ団体数 | 口数 | 金額 (円) | 延べ人数 | 口数 | 金額 (円) | |
| H24 | 7 | - | 349,600 | 17 | - | 300,909 | 650,509 |
| H23 | 4 | 11 | 55,000 | 13 | - | 148,000 | 203,000 |
| H22 | 3 | 10 | 50,000 | 10 | 24 | 120,000 | 170,000 |
| H21 | 6 | 17 | 85,000 | 19 | 62 | 310,000 | 395,000 |
| H20 | 5 | 16 | 80,000 | 29 | 92 | 460,000 | 540,000 |

③募金収入内訳

| 受入年度 | 支援自動 販売機 | ツアー (散歩&サロン) | 寄付付き商品 | | 印税 「京町家の再生」 | 募金箱 (47店舗) | まちセン ゴールドカード | その他 | 合計 |
|------|-------------|-----------------|---------|---------|----------------|---------------|-----------------|---------|-----------|
| | | | バナナ | 八ッ橋 | | | | | |
| H24 | 294,533 | 27,760 | 198,414 | 945,614 | - | 12,604 | 24,298 | 74,120 | 1,577,343 |
| H23 | 295,437 | 127,736 | 180,846 | 873,846 | 7,875 | 15,025 | 21,823 | 47,075 | 1,569,663 |
| H22 | 147,334 | 136,287 | 229,356 | 581,922 | 7,875 | 41,578 | 20,638 | 93,970 | 1,258,960 |
| H21 | 102,854 | 44,700 | 278,844 | | 126,000 | 68,832 | 18,630 | 86,516 | 726,376 |
| H20 | 111,053 | 16,000 | | | | | 20,685 | 157,031 | 304,769 |

(参考)

<期末特定資産の状況>

基金積立資産 (京都市補助金及び寄付金等)

| | |
|---------------------|-----------------------------|
| 京都銀行普通預金 (一般会計繰入金) | 1,123,765 円 |
| 京都銀行普通預金 (寄付金・募金) | 2,195,268 円 |
| 京都市第3回20年公募公債 (20年) | 45,611,920 円 (40,000,000 円) |
| スウェーデン地方金融公社債 (30年) | 42,755,000 円 (50,000,000 円) |

※()内の金額は帳簿価格。

■京町家再生プロジェクト事業

(ワールド・モニュメント・ファンドの助成による京町家再生プロジェクト)

決算額 2,515,895 円 (予算額 5,964,000 円)

地域社会で守るべき文化遺産を保護し後世に継承すべく、世界の歴史的建造物など文化遺産の保護、啓蒙活動を行っているワールド・モニュメント財団 (WMF) から支援を受け、地域と一体となって京町家の保全・再生を図るとともに、その取組と成果を共有し、町並みの保存・再生のモデルとするための活動を行っている。

平成 22 年度の第 I 期プロジェクトである釜座町町家の修復に引き続き、特定非営利活動法人京町家再生研究会と協働し、平成 24 年度は第 II 期プロジェクトとして大型町家である「風雷房」の修復を行った。

(平成 24 年度の主な取組)

- ・大型町家「風雷房」の修復 (工事完成：平成 24 年 5 月)
※修復後は木田安彦美術館として一般に公開されている。
- ・ワールド・モニュメント・ウォッチデーへの参加 (平成 24 年 8 月)
※アメリカン・エクスプレスから WMF を通じ 1,000 ドルの支援を受け、第 I 期プロジェクト釜座町町家での地蔵盆映像を WMF のホームページで世界に向け発信した。
- ・町家再生大茶会 (平成 24 年 11 月 17 日、18 日、釜座町町家ほか)
- ・京町家フォーラム「美しい町家再生 伝統的技術と革新的デザイン」(平成 24 年 11 月 17 日、京都芸術センター)
- ・シンポジウム「技の継承—京町家の再生を通して—」(平成 25 年 2 月 13 日、東京)

(参考)

| | 平成 24 年度収入 | 平成 24 年度支出 | 平成 25 年度繰越 |
|----|---|-----------------------------------|-----------------------|
| | I 期分繰越 803,877 円 II 期分繰越 593,552 円 (利息含む) | I 期分 803,877 円 II 期分 593,552 円 | I 期分 0 円 II 期分 0 円 |
| | 当該年度分 4,021,979 円 (利息含む) | 当該年度分 1,118,466 円 | 2,903,513 円 (利息含む) |
| 合計 | 5,419,408 円 (利息含む) | 2,515,895 円 | 2,903,513 円 (利息含む) |

※ 第 I 期プロジェクト内容

- ・釜座町町家の修復 (工事完成：平成 22 年 11 月)
- ・町家 (ちょういえ) 修復記録の作成 (平成 23 年 9 月)
- ・「京町家の手帖 改修と住まい方の手引き」の作成 (平成 23 年 9 月)
- ・京町家の保全再生に係るアクションプランの提案 (平成 24 年 5 月)

WMF は、隔年で、緊急的に修復・保存などの措置が求められる文化遺産を「ワールド・モニュメント・ウォッチ」としてリストにまとめ、世界に向けて支援を呼び掛けているが、京都の伝統的木造都市住宅である「京町家群」は、平成 22 年の 2010 年版に引き続き、平成 24 年にも 2012 年版として二度目の選定を受けている。

[法人運営]

法人の運営に関する事務を行った。

財団管理

決算額 6,376,447 円（予算額 6,901,000 円）

(1) 管理事務

決算額 6,065,639 円（予算額 6,501,000 円）

理事会・評議員会の運営、財産の管理、経理事務等

(2) 賛助会員管理事務

決算額 94,283 円（予算額 150,000 円）

【参考】（年間会費） 個人 1 口 5,000 円
団体 1 口 50,000 円

個人会員 197 人（23 年度実績 150 人）

団体会員 29 団体（23 年度実績 29 団体）

(3) 団体ネットワーク事務

決算額 216,525 円（予算額 250,000 円）

センターの運営上関連が深い団体との交流事務

京都商工会議所、全国公益法人協会等に入会し、センター運営に資する情報把握に努めた。

<組織図>

